

令和2年分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

輸出額は「自動車」などが増加したものの、「石油製品」、「自動車の部分品」などが減少したことから、対前年比 13.3%の減少となった。また、輸入額は「家庭用電気機器」などが増加したものの、「原油及び粗油」、「液化天然ガス」などが減少したことから、同 32.1%の減少となった。
これにより差引額は、3,522億円（同 53.1%の減少）となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	7,252億円	▲13.3%	1兆0,774億円	▲32.1%	▲3,522億円	▲53.1%
	4年ぶりの減少		2年連続の減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	690億円	+74.6%	輸入	増加品目	(1) 家庭用電気機器	63億円	+36.8%
		(2) 写真用・映画用材料	147億円	+34.2%			(2) 非鉄金属鉱	139億円	+12.4%
		(3) 事務用機器	24億円	17倍			(3) その他の採油用種子	86億円	+15.9%
	減少品目	(1) 石油製品	577億円	▲46.1%		減少品目	(1) 原油及び粗油	5,076億円	▲39.5%
		(2) 自動車の部分品	510億円	▲26.3%			(2) 液化天然ガス	2,134億円	▲29.4%
		(3) 鉱物性タール及び粗製薬品	239億円	▲42.0%			(3) 液化石油ガス	312億円	▲32.5%
地域別動向	増加：西欧 減少：アジア、北米			地域別動向	増加：アフリカ 減少：中東、アジア				

（参考）ドルレートは、106.98円（前年比1.9%、2.1円の円高）であった。

（注）年間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

（注）本資料中の伸率及び増減表記は、前年との比較による。